

地域交通計画策定に向けた取組について

1 概要

本県では、県民の日々の生活に密着した「地域交通」に特に焦点を当て、様々な社会情勢の変化に対応した持続可能な交通ネットワークの維持・活性化を目指し、令和6年3月に「滋賀地域交通ビジョン」を策定した。

今後、ビジョンに描く「滋賀が目指す地域交通の姿」の実現に向け、県民、企業、交通事業者、市町とともに、具体的な施策と、施策実施に必要な財源について、いわゆる「交通税」も選択肢に丁寧に議論を重ね、令和6年度、7年度の2か年で「滋賀地域交通計画」としてまとめていく。

2 滋賀地域交通計画策定スケジュール

別添資料1＜滋賀地域交通計画策定スケジュール＞のとおりに

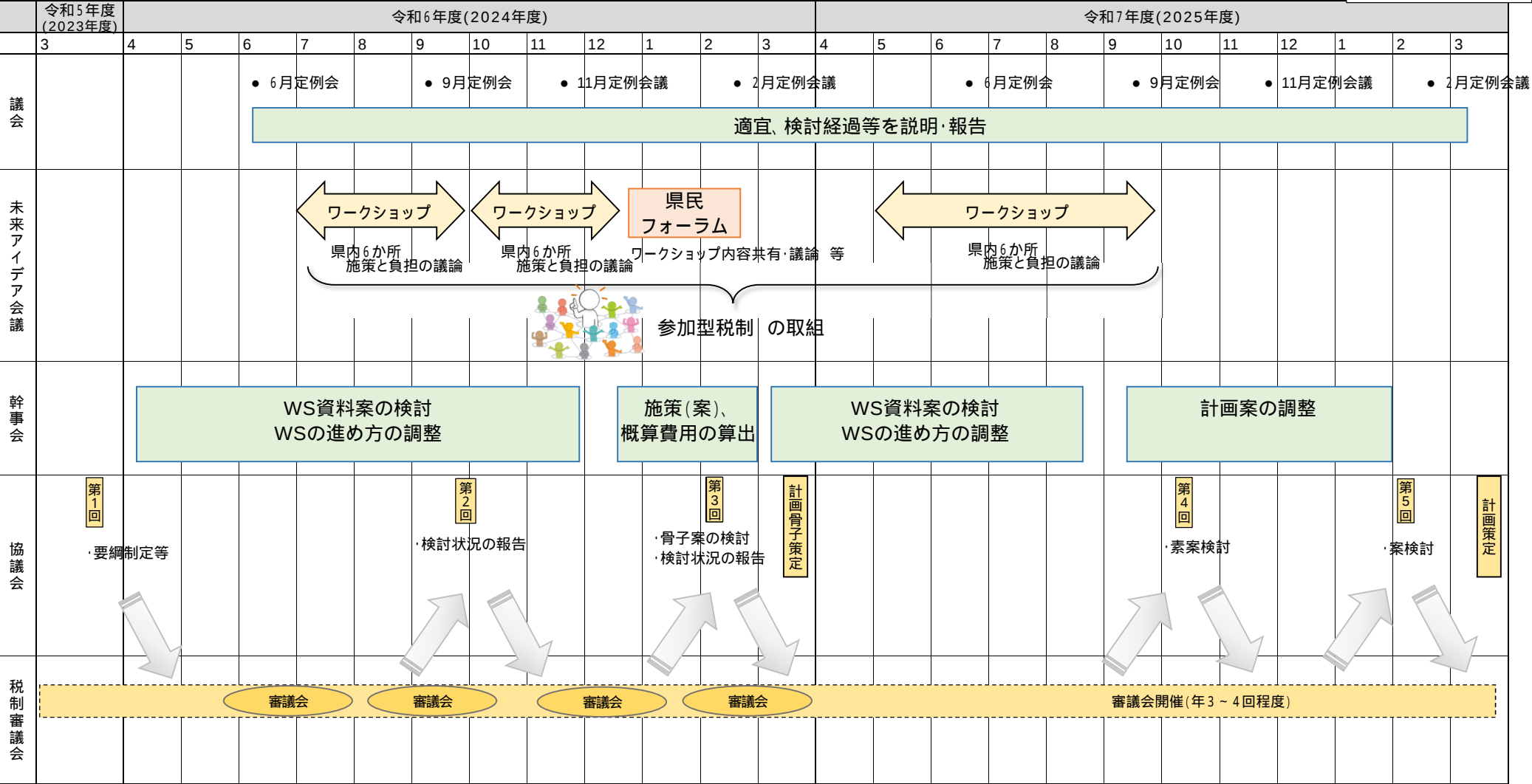
（スライド2）

3 滋賀地域交通計画策定に向けた県民等との対話

別添資料2＜ワークショップの実施イメージ＞のとおりに

（スライド3～）

滋賀地域交通計画策定スケジュール



税制審議会答申

参加型税制.....納税者である住民が、単に費用を負担するだけではなく、負担を巡る議論を通じて、ともに地域の将来像を描いていく仕組み
・税を巡る議論に多くの住民が参加することにより、その住民との合意形成の過程自体を通じて、住民のニーズを掘り起こしていくとともに、住民にも理解と納得感を持ってもらうことが肝心である。

▼ワークショップの到達点

- ①現状に対する理解と共有
- ②「まちづくり」と「地域交通」のビジョンの共有
- ③県民が想う「誰もが、行きたいときに、行きたいところに移動できる、地域交通」に不可欠な交通軸の姿の把握
- ④「持続可能な地域交通の形成」のために、各々がやれること、すべきことの意見・アイデア抽出

▼実施イメージ



▼実施イメージ

【第1回ワークショップ】

3時間を想定

次第	タイム	目的
イントロ	10分	ワークショップの位置づけ
説明	15分	・各エリアのまちづくりと交通の現状説明 ・移動の現状と課題の共有
WS①	60分	・ライフスタイルに応じた移動のあり方の議論 ・望ましい交通軸の姿の抽出 ・担保すべき「移動目的」の議論
休憩	5分	
説明	10分	・「財源」に関する議論の「論点整理」
WS②	50分	・負担分担、財源のあり方の議論
グループ発表	20分	全体共有
アウトロ・アンケート	10分	次回WSに向けた意見把握

【第2回ワークショップ】

3時間を想定

次第	タイム	目的
イントロ	10分	ワークショップの位置づけ
説明	15分	・第1回WS議論のバック
WS①	60分	・地域交通の必要性、価値の議論 ・望ましい交通軸の姿のまとめ ・担保すべき「移動目的」の議論 ・自らがやれること、すべきことの議論
休憩	5分	
説明	10分	第1回WSを受けた施策と費用について
WS②	50分	・負担分担、財源のあり方の議論 ・自らがやれること、すべきことの議論
グループ発表	20分	全体共有
アウトロ・アンケート	10分	フォーラムに向けた意見把握

ワークショップ実施（案）の概要＜湖北地域＞

鉄道、幹線バスによる交通軸が明確であること、市内循環バスやデマンドタクシーなど交通網の構築に向けて様々な取組が実施されていることを踏まえ、6 圏域のうち【湖北地域】においてワークショップを先行して実施する

▼開催日時・場所

開催日時 7月13日（土）

9時30分～12時30分（予定）

開催場所 米原市役所本庁舎 会議室3ABC

▼構成メンバーの考え方

- ・ 県民を主体とし、公募を基本
- ・ 5～8名程度で構成する複数グループで議論
- ・ グループごとにファシリテーターを配置
- ・ 議論の積み重ねのため、メンバーは固定を基本としつつ、議論の内容に応じ必要なメンバーを追加する等、柔軟に対応

▼グループ構成のイメージ

グループ構成イメージ		想定人数
グループA	・ファシリテーター ・学生 ・子育て世代 ・シニア世代（高齢者） ・自治体職員	5～8名程度
グループB	・ファシリテーター ・若者 ・企業 ・シニア世代（高齢者） ・自治体職員	5～8名程度
グループC	・ファシリテーター ・学生 ・事業者 ・障害者 ・自治体職員	5～8名程度
オブザーバー	JR（北陸線） バス事業者 タクシー事業者	各1名

※グループピングについては、応募状況等を踏まえて調整

▼参加者のイメージ

カテゴリー	視点	想定される参加者属性
現利用者	・利便性向上に対するニーズ	・学生（通学） ・若者
移動に際して課題や将来に不安を感じている者	・利用したいが利用できない方の移動ニーズ	・子育て世代 ・シニア世代 ・障害者
利用意向がない者	・移動や行動実態 ・家族など身近な人の移動ニーズ	・福祉関係団体相談員等 ・まちづくり団体（地域公共交通運営団体等）
事業者	・労働力確保や来訪者増加など地域活性化に係る移動ニーズ	・商工会議所 ・観光振興協会・旅行会社

ワークショップで使用する資料のイメージと主なテーマ（案）

▼第1回ワークショップの主なテーマ(案)

テーマ①	まちづくりと地域交通について
資料	まちづくりの方向性、人口分布・将来推計、公共交通の利用状況、各市町の地域公共交通計画における課題、人流データ、アクセシビリティ評価 等
グループ討議	まちづくりの方向性、移動の現状と課題を共有した上で、ライフスタイルに応じた「担保すべき移動と手段(施策)」について、意見・アイデアを出す (交通軸の運行頻度・回数、交通網の手段例・アクセシビリティ)
テーマ②	地域交通を支える財源について
資料	地域交通ビジョンにおける追加コストの試算結果追加コストを賄うアプローチの例示
グループ討議	事業者等から地域交通が抱える課題を提示し、地域交通をどう維持・向上していくべきか、負担分担・財源のあり方も含め、議論

